

2018～2019 年度



THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東インペリアルビル 4 階

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976 年 5 月 11 日

会 長 : 吉澤晴雄

副 会 長 : 宮崎敏博

幹 事 : 中澤伸浩

会報委員長 : 近藤慎悟

第 2077 回 例会記録 No. 18

平成 30 年 11 月 28 日

司会: 渡辺 裕介 編集: 黒田 幸英

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「我らの生業」
3. ロータリーの目的 江口公晴 会員
4. ロータリーの行動規範 鈴木英男 会員
5. お客様紹介 第 2770 地区財団部門
資金推進委員長 早船雅文 様
大宮中央ロータリークラブ 会長 入江信仁 様
同 会長エレクト 樋口領治 様
同 青少年奉仕委員長 守屋 実 様
同 社会奉仕委員長 堀越太志 様
同 次年度青少年奉仕委員長(予定) 松山哲則 様
米山記念奨学生 邵 丹陽(ショウタンヨウ) 様
6. 会長卓話
7. 幹事報告
8. 雑誌記事紹介 川島 徹 会員
9. 委員会報告/スマイル報告
10. 外部卓話
11. 出席報告

次回例会案内 平成 30 年 12 月 5 日

4 つのテスト

3 分間ロータリー情報

「音をとおして、人とのよりそい方」佐田麻美 様

会長卓話



吉澤 晴雄 会長

皆さんこんにちは、本日は大宮中央 RC より入江会長はじめ大勢のメンバーにお越し頂いております。宜しくお願ひ致します。また地区財団部門資金推進委員長、早船さま、本日は卓話宜しくお願ひ致します。

先週の 22 日(木)にパレスホテル大宮にて、小林操ガバナーエレクト結団式が開催されました。当日は地区が主催となりますので、地区事務局が受付、次年度副幹事の皆様が、お客のお出迎えおよびお見送りをして頂きました。12月17日に開催されます、壮行会では、越谷北 RC が主催となりますので、受付、お出迎え、お見送りは当クラブで担当するようになると思います。あとは、大勢の挨拶と、懇親会になると思いますので、皆様のご協力宜しくお願ひ致します。

先週の例会では、地区大会の様子が上手く上映できませんでしたので、本日は再度皆様にご覧になって頂きたいと思ひます。

本日の例会も宜しくお願ひ致します。

幹事報告



中澤 伸浩 幹事

(クラブより)

- ・小林操ガバナーエレクト壮行会が、12/17(月)午後6時よりベルヴィギヤザホール 2 階ル・エクラにて開催されます。出欠回答が未了の方は、すみやかに Fax 頂くか、または幹事中澤までお願いします。
- ・12/5 例会後、第 6 回理事役員会が開催されますので、理事役員の方は必ずご出席下さい。
- ・本日、事務局杉山さん、伊丹さんへ 11 月分給与を支給させていただきます。いつもありがとうございます。
- ・秋の褒賞で、黄綬褒章を受章された堀野会員に、クラブ慶弔規定により御祝金を支給させていただきます。堀野さん、おめでとうございます！

(地区より)

- ・米山奨学生感謝の集いのご案内が届いております。12/23 に、ラフレさいたまにて開催されます。参加希望の方は、幹事までお願いします。

お客様紹介

(RI 第 2770 地区ロータリー財団部門)

資金推進委員長 早船 雅文様

(大宮中央ロータリークラブからのお客様)

会長 入江 信仁 様

会長エレクト 樋口 領治 様

青少年奉仕委員長 守屋 実 様

社会奉仕委員長 堀越 太志 様

次年度青少年奉仕委員長予定者 松山 哲則 様



大宮中央ロータリークラブ会長 入江 信人 様

私は、以前お隣の春日部に住んでいまして、千間堀という川が有りました。朝から晩まで釣りをして遊んだ思い出があります。当時せんげん台は田圃ばかりで、現在の様子は発展し、様変わりしているのに驚いています。私の挨拶が長くなると、卓話の時間が無くなってしまいますのでこの辺で挨拶を終わりにさせていただきます。今日一日宜しくお願い致します。



大宮中央ロータリークラブ

青少年奉仕委員会委員長 守屋 実 様

会長からは本日、お邪魔した目的のお話はございませんでしたが、私からお話させていただきます。実は毎年 7 月から青少年交換事業があります。私どもクラブから 2 人、青少年交換留学生の派遣を検討していますが、今まで受け入れておりました、大宮西高等学校が諸事情から受け入れられないとの事にして、何とか 1 名の受け入れ先に目途を付けましたが、1 人の目途が付かずにいます。その為何とか貴クラブで受け入れをお願いできないか社会奉仕委員長、会長エレクト、次年度青少年奉仕委員長予定者でお願いに伺いました。後ほど詳細についてお話をさせていただきます。

ます。宜しくお願い致します。

お知らせ

秋の褒章で黄綬褒章を受賞された堀野眞孝会員に、吉澤会長よりクラブからのお祝い金が贈られました。 ☆ おめでとうございます・・・☆



会長と堀野眞孝会員

雑誌記事紹介



川島 徹 会員

皆様こんにちは、本日の雑誌記事紹介は 11 月号 73 ページに掲載された「児童虐待の実情」と言う記事をご紹介します。

悲惨な児童虐待のニュースは皆様も新聞やテレビ、或いはインターネット等で耳目に触れる事も多く、胸を痛める事もあるかと思いますが、これはそんな虐待の現状について「児童養護施設 大村子供の家」副施設長の松本幸治さんが書かれた記事です。

先ず、筆者の松本さんは現在、ご祖父様の代から続く児童養護施設で勤めていらっしゃいますが、その環境から、日常的に心理的ケアが必要な子供さん達について考える機会が多かったようです。そのような

影響で社会福祉を学ぶ道に進み、JICA (国際協力機構) に入りシリアやバルカンなどの開発途上国の支援を行っていたようです。そこではエンパワーメント (自立に必要な力を養う事) など自立発展性などについて考え、支援が必要な人が自立し、発展していく為に自分がすべきことを実感したようです。また、その時カウンセリングの持つ可能性を感じ、更に深く学ぶ為、ロータリー財団の奨学金に応募し、エジンバラ大学大学院に進み、スコットランドでカウンセリング技術資格を取得、帰国後、大村子供の家での勤務を始めました。

さて、その大村子供の家はもともと戦争孤児や身寄りの無い子供達の保護・養育を目的として創設されました。それが時代の流れと共に子供の入所理由も変化していき、今、施設で生活する子供の約 6 割が家庭内での虐待を理由に入所しているそうです。全国的にも過去 25 年間で増加の一途を辿り、2016 年度にはついに 12 万件を超え、現在もなお増え続けています。虐待の種類として最近増えてきているのが、ネグレクト。保護者が子供の世話をしない、養育放棄をしてしまっている状態です。また、現状の虐待の半数は心理的虐待によります。身体的虐待数は全体の 4 分の 1 ほどで、性的虐待も約 15% の 1,500 件くらい存在しています。この心理的虐待によって目には見えない「何か」に苦しむ「心の病」も生れています。その克服の為にカウンセリングが用いられていますが、「患者の問題を診断し、アドバイスをするもの」と考えられている日本とは違い、イギリスでは患者へのアドバイスをタブー視しており、患者の感情に寄り添いながら患者の自己発見・エンパワーメントを促すことを目的としているそうです。その学びが、現在の児童養護施設での子供との関わりに役立っていると言うことでした。

更に最近話題となっているのは「子供の貧困」で、日本の子供の 7 人に 1 人が貧困状態と言われています。これは OECD (経済協力機構) 加盟国の中でも

極めて悪い水準です。そして虐待と「子供の貧困」は深く結びついています。

この「子供の貧困」とは何か。真の姿を考えてみると親の貧困であり、社会の貧困です。貧困は連鎖し親が貧困であれば子供も貧困になりがちです。貧困とは、お金が無いと言う事だけではなく、人間関係の希薄さにも当てはまります。例えばお金が無いという事態に遭遇した時に相談する相手がいない、誰に相談していいかわからない、これは人とのつながりが薄いと言う事であって、人間関係の貧しさとしても捉えられます。記事中にもあるように、子供も、またその親も「受け止めてもらう・聴いてもらう」という機会の多くを失ってしまった現在の日本。その原因には核家族化や地域的人間関係の希薄さもあるでしょう。ドイツやデンマークなどの北欧諸国のように、社会的教育学の考えを取り入れ、子育ては国や地域の責務として考えて行かなければならないのかもしれない。

では、我々ロータリアンに何か出来る事はないのだろうか、と考えると、パッと浮かんだのは毎年の越谷市民まつりでした。このような交流の機会を大事にしていかなければと感じました。上で述べられているように、子供や、その親が「受け止めてもらう・聴いてもらう」機会を皆さんと協力して作って行きたいと考えさせられた記事でした。

委員会報告

国際奉仕委員会 須賀篤史 委員長

先週もご報告致しましたが、再度ご報告させていただきます。来年の世界大会の件ですが、大会参加に併せた観光場所をイタリア或いはドイツに付いてアンケートをお取りしましたが、ドイツに又宿泊ホテルはガバナナイトを行なうホテルとは別と決まりました。

国際大会に参加を検討されている会員に於いては 12 月 16 日までに登録すると 100 ドル登録料が安くなりますので早めにお願ひ致します。ネットでマイロータリーから入り登録できます。操作の分らない方は、

12 月 5 日までに事務局にお申し付け下さい。

外部卓話



RI 第 2770 地区ロータリー財団部門

資金推進委員長 早船 雅文 様

ロータリー財団の増進及びプログラム利用について

皆様、今日は。地区財団資金推進委員長の早船です。川口 RC の所属です。

今回は、財団卓話として、まず 5 年前に行いましたグローバル補助金を使つての RID5340 地区への RID2770 地区からの VTT の報告と、財団の基本的なお話をしたいと思います。その前に、なぜ 11 月がロータリー財団月間となっているかについてですが、1905 年ポールハリスほか 3 名によりシカゴ RC が創設され、1917 年アーチ・クランプ RI 会長による基金の提唱が財団の前身になり、1931 年に RI 財団が信託組織になりました。そのなった月が 11 月でしたので、11 月が財団月間となりました。

それでは、グローバル補助金を使ったサンディエゴ VTT についてお話しします。この 2770 地区から「アルツハイマー病及び介護」の現状(研究・治療・その設備)について、職業研修チームを RID5340 戦ディエゴ地区へ派遣しました。参加者は、神経内科医・介護施設管理者・ケアマネージャー・ケアワーカー・レントゲン技師そして私です。サンディエゴは、気候が温暖でリタイアされたお金持ち老人が全米各地から集まっています。その方々の需要もあるでしょうか、医療機関や介護施設が多く、認知症・アルツハイマーの研究が進んでいる地域です。

派遣期間は、2014年3月30日から4月13日までの2週間、グローバル補助金は37,500ドルでした。当時ロータリーレートは1ドル102円でしたので、約384万円でした。サンディエゴ地区の医療施設・介護施設を訪問し、実際の診療や介護の現場を体験しました。宿泊は、ロータリアンの所でのホームステイと介護施設への入居でした。私も56歳で初めてホームステイする側を経験しました。青少年交換でデンマークの学生をホームステイさせたことはありますが、自分がする側になるとは思いませんでした。しかし、私がホームステイした2軒のお家は大邸宅で、かなり快適でした。

研修のスケジュールは3月30日出発しサンディエゴ到着後、ホテル内でプレゼンの準備。31日カールスバッド・ハイヌーン RC 訪問互角ホームステイ先へ宿泊。4月1日エリザベス・ホスピス訪問の後、リタイムントホーム・カーサデラスカンパナス及びサンシャインプレイス訪問。通訳を入れての意見交換や質問をしました。そんなハードなスケジュールの2週間でした。

通訳の方は、医学用語ができるというハードルが高い通訳でしたので、時給100ドル約1万円です。一日7時間拘束すると7万円。通訳費用は結構掛かりました。

前半の週はサンディエゴ地区の方のおすすめの場所に訪問しましたが、高額所得者向けの先進的な立派な施設ばかりだったので、チームメンバーからはこれでは埼玉へ帰っても参考にならないという意見が出ましたので、土曜日曜に後半のスケジュールの調整をお願いし、より専門的に介護班と医療班に分けて視察内容を再調整しました。特に介護班は、中低所得者向けの施設を視察しました。

サンディエゴは、電車バスなどはあまりありません

ので、5340地区で自動車を持っていて、いろいろな場所へ運んでもらいました。朝マーケットの駐車場に各ホームステイ先から送られてきて、地区の車に乗り施設を訪問して夕方またマーケットの駐車場に帰ると迎えに来てくれるという毎日でした。さて、地区の車は地区の役員ガバナーエレクト・ガバナーノミー・パストガバナーの方々が、運転してくれました。さすがにアメリカは大統領が自ら動く国で、トップの方々が自ら動いていることを実感しました。

4月2日、介護施設訪問後、サンディエゴ・ペテコスタジアムにメジャーリーグの試合を観に行きました。駐車場で車から降りると、サンディエゴパドレスのスタッフが私たちを案内してくれました。私はスタジアムの中を歩いて、センターポールのある高い所へ連れていかれました。そこでセレモニーに合わせてロータリー旗をセンターポールに掲げる役をすることになっていました。ほかの5人のメンバーは、ホーム上に立ち、日本からサンディエゴに6人のVTTチームがロータリーのプログラムで来ていると紹介され、私は旗を揚げるように合図されました。メジャーリーグ開会前のセレモニーで行うことができ、大変うれしかったです。試合は、ロサンゼルスドジャースと良い試合をしました。1塁側にいたのですが、ドジャースファンも多かったです。

このVTTプロジェクトは、2010～11年に行う予定でしたが、東日本大震災があり中止せざるを得なかったのを、2013～14年の渡辺ガバナーの時に再度計画することで、当時の井橋財団委員長・井原財団部門委員長と何度も打ち合わせを行いました。二週間仕事を空けて参加できる方を探すことは大変でした。岩渕パストガバナーのご紹介で上尾リハビリセンターの神経内科医が参加してくれたことに感謝いたします。もう一つのグローバル補助金申請についても、地区主体で行う初めとのことでしたので、苦労しました。井原部門委員長にほとんどしていただきましたが、その時にサステナビリティとアカウンタビリティという英単語



が多く出てきました。持続可能なプロジェクトなのか、このプロジェクトでどれくらいの人に利益が与えられるかをどうリサーチできるのか等基本的なことに答えてやっと 3 月 8 日にグローバル補助金が出ることになりました。3 月 30 日からの日程で 4 月 13 日には無事帰ってくることができました。

翌年、地区財団 VTT 委員会は、スウェーデンへの終末医療の研究派遣を行い、次の年はフィリピンへの日本の医療機器の実習プロジェクトを現地で行うことができました。3 年間にわたって、グローバル補助金を使った VTT ができました。

グローバル補助金を使うには、ロータリーの重点分野 6 つの項目、①平和と紛争予防・紛争解決②疾病予防と治療③水と衛生④母子の健康⑤基本的教育と識字率向上⑥経済と地域社会の発展、のどれかの項目に該当しなければ申請受理できません。サンディエゴ VTT は、②の項目での申請で、行うことができました。

 **スマイル報告** 

・本日財団の卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。 **早船 雅文**

・お忙しい中時間をいただき誠にありがとうございます。 **入江 信仁**

・本日は大宮中央クラブより大挙して押し掛けて参りました。何卒宜しくお願い致します。

樋口 領治

・本日は例会に訪問させていただきました。よろしく宜しくお願い致します。 **守屋 実**

・本日は大人数での参加に関わらず快く参加させていただき有難うございました。 **堀越 太志**

・入会して初めてのメーキャップで、お伺い致しました。本日は、よろしく宜しくお願い致します。

松山 哲則

・大宮中央 RC 会長入江信仁様をはじめ、みなさまよう

こそ！地区ロータリー財団部門資金推進委員長、早船雅文様本日の卓話よろしくお祈いします。

吉澤 晴雄

・お客様、皆様ようこそ！ 早船さま本日卓話よろしくお祈い致します。 **中澤 伸浩**

・大宮中央 RC 会長入江信仁様、会長エレクト樋口領事様、堀越太志様、守谷実様、松山哲則様ごゆっくりお過ごし下さい。 **小林 操**

・永年お世話に成りました。12 月の例会は都合により欠席となります。 **高橋 正美**

・地区資金推進委員長、早船様本日の卓話よろしくお祈い致します。大宮中央 RC の皆様ようこそ！

市川 洋和 大熊 正行 関森 初義 鈴木 英男

・結婚祝のお華を頂き有難うございました。又本日の例会には多くのお客様にお出で頂き有難うございます。 **黒田 幸英**

・語ろう会の発足おめでとうございます。これからよろしくお祈いします。楽しい会にしましょう。 **浅野目 猛**

・欠席が多くて申し訳ありません。 **堀野 眞孝**

・前回欠席 **太田 靖彦**

・お客様ようこそ、世界平和のために

大濱 裕広

・コメントなし

小林 光則

出席報告

会員数	49 名
出席免除者	14 名
出席者	36 名
欠席者	13 名
出席率	92.3%